(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4002310号
(P4002310)
(45)発行日　平成19年10月31日(2007.10.31)　(24)登録日　平成19年8月24日(2007.8.24)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 311A

請求項の数 1 (全 8 頁)

(21)出願番号　特願平8-47540
(22)出願日　平成8年3月5日(1996.3.5)
(65)公開番号　特開平9-239106
(43)公開日　平成9年9月16日(1997.9.16)
審査請求日　平成14年10月15日(2002.10.15)

(73)特許権者　000127628
株式会社エース電研
東京都台東区東上野３丁目１２番９号
(74)代理人　100082728
弁理士　柏原　健次
(72)発明者　武本　孝俊
東京都台東区東上野３丁目１２番９号　株式会社　エース電研　内
(72)発明者　鶴見　正行
東京都台東区東上野３丁目１２番９号　株式会社　エース電研　内

審査官　高橋　三成

最終頁に続く

(54)【発明の名称】パチンコ機

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

遊技者に有利な付加価値状態を発生させ得る役物装置と、パチンコ球の入賞により前記役物装置を始動する権利を発生させる始動チャッカーと、前記権利の発生に基づいて前記役物装置を始動させる制御部とを備えるパチンコ機において、

前記役物装置は前記パチンコ機の遊技盤面上のほぼ中央に設けたセンター部と、該センター部にパチンコ球を取込み可能な可動開閉片と、数字または図柄を可変表示可能な可変表示部と、遊技盤面上の下部に設けた可変入賞口とを有し、

前記始動チャッカーはパチンコ球の入賞により前記可動開閉片が動作する第１始動チャッカーと、パチンコ球の入賞により前記可変表示部が動作する第２始動チャッカーとから構成され、

前記制御部は、前記第１始動チャッカーへの入賞によって、前記可動開閉片が開閉動作を行い、該開閉動作が継続している間に前記センター部に取り込まれたパチンコ球が、特定の部位に入ると、前記可動開閉片の開閉状態が通常よりも長い時間可動および可動開閉片の開状態を一定時間維持の少なくとも１つを制御し、

前記第２始動チャッカーへの入賞によって、前記可変表示部で抽選の結果が所定の当たりとなったとき、前記可変入賞口が所定の開閉動作となり、該可変入賞口の開閉動作が継続している間に前記センター部に取り込まれたパチンコ球が、特定の部位に入ると、前記可変入賞口が通常よりも長い時間可動および可変入賞口の開状態を一定時間維持の少なくとも１つを制御する、

ことを特徴とするパチンコ機。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、遊技者に有利な付加価値状態を発生させ得る役物装置と、パチンコ球の入賞により前記役物装置を始動する権利を発生させる始動チャッカーと、前記権利の発生に基づいて前記役物装置を始動させる制御部とを備えるパチンコ機に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来のパチンコ機としては、例えば始動チャッカーへパチンコ球が入ると可変表示手段が作動し、その表示内容が特定の組合せになった場合に遊技者に有利な付加価値状態を発生させる第１種遊技機いわゆるセブン機がある。
【０００３】
また、始動チャッカーへパチンコ球が入ると通常は閉じたセンター役物の可動開閉片が所定の開閉動作を行い、その開閉動作中にセンター役物内に設けられた特定穴（いわゆるＶゾーン）にパチンコ球が入ると大当たりとなって遊技者に有利な付加価値状態を発生させる第２種遊技機いわゆる羽根物がある。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、このような従来のセブン機では、「大当たり」となれば大量の出玉となり、いわゆる「勝つこと」ができるが大当たりとなる確率は高くはない（例えば、１００数十分の１から３００数十分の１等）。そのため、幸運にも遊技を開始して間も無いうちに「大当たり」となれば投資金額も少なく短時間のうちに「勝つこと」ができるが、「大当たり」とならない場合には遊技者の手持ちのパチンコ球の減少が速いので、ある程度長い時間遊技を楽しみたいと思う遊技者には不向きであるという問題があった。
【０００５】
一方、羽物は総じてセブン機よりも長い時間遊技を楽しむことができるが、同じ「大当たり」でも１回の大当たりにつき払い出される賞球の数はセブン機よりも遥かに少なく、セブン機のように１回の大当たりで一発逆転的に勝てるという醍醐味は提供きないという問題があった。
【０００６】
本発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、１台のパチンコ機で遊技者の遊技を「楽しむ」目的と遊技に「勝つ」目的の何れにも答えることのできるパチンコ機を提供することを目的とする。
【０００８】
【課題を解決するための手段】
かかる目的を達成するための要旨とするところは、次の項に存する。
遊技者に有利な付加価値状態を発生させ得る役物装置と、パチンコ球の入賞により前記役物装置を始動する権利を発生させる始動チャッカーと、前記権利の発生に基づいて前記役物装置を始動させる制御部（３０ｂ）とを備えるパチンコ機（１０）において、
前記役物装置は前記パチンコ機（１０）の遊技盤面（１２）上のほぼ中央に設けたセンター部（２０）と、該センター部（２０）にパチンコ球を取込み可能な可動開閉片（２１、２１）と、数字または図柄を可変表示可能な可変表示部（２２）と、遊技盤面（１２）上の下部に設けた可変入賞口（２３）とを有し、
前記始動チャッカーはパチンコ球の入賞により前記可動開閉片（２１、２１）が動作する第１始動チャッカー（Ｃ１、Ｃ１）と、パチンコ球の入賞により前記可変表示部（２２）が動作する第２始動チャッカー（Ｃ２）とから構成され、
前記制御部（３０ｂ）は、前記第１始動チャッカー（Ｃ１、Ｃ１）への入賞によって、前記可動開閉片（２１、２１）が開閉動作を行い、該開閉動作が継続している間に前記センター部（２０）に取り込まれたパチンコ球が、特定の部位に入ると、前記可動開閉片（

２１、２１）の開閉状態が通常よりも長い時間可動および可動開閉片（２１、２１）の開状態を一定時間維持の少なくとも１つを制御し、

前記第２始動チャッカーへ（Ｃ２）の入賞によって、前記可変表示部（２２）で抽選の結果が所定の当たりとなったとき、前記可変入賞口が所定の開閉動作となり、該可変入賞口（２３）の開閉動作が継続している間に前記センター部（２０）に取り込まれたパチンコ球が、特定の部位に入ると、前記可変入賞口（２３）が通常よりも長い時間可動および可変入賞口（２３）の開状態を一定時間維持の少なくとも１つを制御する、

ことを特徴とするパチンコ機（１０）。

【００１３】

パチンコ機（１０）の遊技盤面（１２）内に打ち出されたパチンコ球は遊技盤面（１２）に打たれたクギや風車にぶつかりながら様々に方向を変えて落下し、アウト口（１５）に至る前に入賞口に入賞すると賞球の排出等が行われる。

【００１４】

パチンコ球が第１始動チャッカー（Ｃ１、Ｃ１）へ入賞すると、前記役物装置の可動開閉片（２１、２１）が開閉動作を行う。

そして、第１付加価値状態が継続している間にセンター部（２０）に取り込まれたパチンコ球が特定の部位に入ると第１付加価値状態よりもさらに遊技者に有利な状態、例えば、通常よりも長い時間可動開閉片（２１、２１）を開閉状態にしたり、あるいは、開いた状態を一定時間維持する。

【００１５】

また、パチンコ球が第２始動チャッカー（Ｃ２）へ入賞すると制御手段（３０）に抽選を行わせる第２権利が発生し、該第２権利に基づいて制御手段（３０）が抽選を行うとともに前記可変表示部（２２）も動作させる。

そして、第２権利に基づくＣＰＵの抽選の結果が所定の当たりとなったとき、可変入賞口（２３）に第２付加価値状態を発生させる。第２付加価値状態が継続している間にセンター部（２０）に取り込まれたパチンコ球が特定の部位に入ると第２付加価値状態よりもさらに遊技者に有利な状態を齎す。

【００１７】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づき本発明の一形態を説明する。

【００１８】

図１から図３は本発明の一形態を示している。

【００１９】

図１に示すように、

本発明の実施の形態に係る遊技機１０は、遊技者がハンドル１１を回転操作することにより遊技盤面１２上にパチンコ球を打ち出し、かかる打球の各入賞口ＮＣ…、ＮＳ…やセンター部２０、あるいは可変入賞口２３への入賞により払い出される賞球の獲得数を楽しむパチンコ機である。

【００２０】

遊技盤面１２には遊技者に有利な付加価値状態を発生させ得る役物装置と、パチンコ球の入賞により役物装置を始動させる始動チャッカーＣ１、Ｃ１、Ｃ２とを具備している。また、パチンコ球を弾く多数の釘、各種入賞口ＮＣ…、ＮＳ…やアウト口１５等が配置されている。遊技盤面１２の下側には、遊技に供するパチンコ球を入れ且つ入賞があったときに賞球が払い出される前皿１３や、その前皿１３の下方に配設して前皿１３が満杯となったときにパチンコ球を移して貯留するための下皿１４が設けられている。遊技盤面１２の裏側等の機体内には役物装置の制御をはじめパチンコ機１０の諸々の制御を行うための制御手段３０（図２参照）が取り付けられている。

【００２１】

役物装置はパチンコ機１０の遊技盤面１２上のほぼ中央に設けたセンター部２０と、センター部２０にパチンコ球を取込み可能に開閉する開閉片２１、２１と、数字または図柄を

可変表示することができる可変表示部２２及び可変入賞口２３とを有している。

【００２２】

センター部２０の両側面にはパチンコ球の入賞を可能とする開口部（図示せず）が形成されている。

【００２３】

可動開閉片２１、２１はセンター部２０の両側に設けられた片状体であり、枢着された下端部を軸としてそれぞれ外へ開きまた閉じるように枢動するもである。可動開閉片２１、２１は通常、開口部を塞いでパチンコ球の入賞を妨げるように鉛直方向に向けられているが、特定の入賞があったときはモータＭ１の駆動力により開閉動作してパチンコ球を開口へ導きセンター部２０へ入賞させることができるように変位する。

【００２４】

遊技盤面１２の最下部近くには第１始動チャッカーＣ１、Ｃ１が設けられている。第１始動チャッカーＣ１、Ｃ１内にはパチンコ球の入賞があると可動開閉片２１、２１を始動させる第１権利を発生させ、後述する制御手段３０が第１権利の発生に基づいて可動開閉片２１、２１に遊技者に有利な第１付加価値状態をもたらす動作をさせるべく入賞球を検知する検知スイッチ（図示せず）が設けられている。第１付加価値状態の例としては、第１始動チャッカーＣ１、Ｃ１へのパチンコ球の入賞が１回ある毎に可動開閉片２１、２１が１～３回等の開閉動作を所定回数行うものである。

【００２５】

センター部２０の内部には入賞球を検知するための入賞検知手段Ｓ１（図２参照）が設けられている。該入賞球検知手段Ｓ１は可動開閉片２１、２１が第１付加価値状態をもたらす動作を行っている間にセンター部２０に入賞したパチンコ球が所定条件を満たしたとき、例えば特定部位に入ったときに、制御手段３０に遊技者に更に有利な付加価値状態を発生させる等行うためのものである。

【００２６】

センター部２０の下方で可変入賞口２３の上方には第２始動チャッカーＣ２が設けられている。第２始動チャッカーＣ２内にもパチンコ球の入賞を検知する検知スイッチ（図示せず）が設けられている。該検知スイッチは入賞があると制御手段３０に抽選を行わせる第２権利を発生させるものである。

【００２７】

可変入賞口２３は第２権利に基づいて制御手段３０が抽選を行い、抽選結果が所定の「大当たり」のときに図２に示したモータＭ２によって開閉動作して遊技者に有利な第２付加価値状態を発生させる可動体２４を具備している。可変入賞口２３内には入賞球を検知するための入賞検知手段Ｓ２（図２参照）が設けられている。入賞検知手段Ｓ２は可変入賞口２３が第２付加価値状態を齎す動作を行っている間に可変入賞口２３内に入賞するパチンコ球を検知して、制御手段３０に第２付加価値状態の制御のための情報を提供するものである。

【００２８】

可変表示部２２は制御手段３０の行う抽選の結果が当たりであるか否かに拘わらず所定時間の表示変化の後に抽選結果を表示するための表示手段である。

【００２９】

可変表示部２２はカラー液晶ディスプレイから成り、その種類としては、代表的なものにＳＴＮ（単純マトリクス）方式やＴＦＴ（アクティブマトリクス）方式が挙げられる。ＳＴＮ方式は、ＴＦＴ方式に比して安価だが、コントラストが弱く真正面からでないと見えにくく、一方、ＴＦＴ方式はシャープな画像を得られる上に応答性にも優れているが、高価である。

【００３０】

本実施の態様における可変表示部２２には前述の何れの方式を用いてもよい。また、可変表示２２はカラー液晶ディスプレイに限定されるものではなく、モノクロ液晶ディスプレイはもちろんのこと、その他、蛍光表示管やブラウン管（ＣＲＴ）等を用いて構成しても

よい。
【００３１】
センター部２０の上部付近には、可変表示部２２の動作中に第２始動チャッカーＣ２にパチンコ球が入賞して第２権利が発生したときにその権利の実行の保留数を表示するための４つの保留表示ランプ４２、４２、４２、４２が設けられている。
【００３２】
図１に例示したように、パチンコ機１０の適所に保留した第２権利を遊技者の操作によって第１権利変更に変更可能とする権利変更手段４１が設けられている。
【００３３】
図２に示す制御手段３０は、主として可変表示部２２等の表示内容を制御する表示制御部３０ａと、主として第１始動チャッカーＣ１、Ｃ１へのパチンコ球の入賞により発生した第１権利に基づく可動開閉片２１、２１の開閉動作や第２始動チャッカーＣ２、Ｃ２へのパチンコ球の入賞により発生した第２権利に基づく抽選、抽選結果に基づく可変入賞口２３の可動体２４の動作等を制御する遊技制御部３０ｂとから成る。表示制御部３０ａは、ＣＰＵ３１，ＲＯＭ３２，ＲＡＭ３３等を少なくとも含むマイクロコンピューターから成り、同様に遊技制御部３０ｂも、ＣＰＵ３４，ＲＯＭ３５，ＲＡＭ３６等を少なくとも含むマイクロコンピューターから構成されている。また表示制御部３０ａと遊技制御部３０ｂとは、データ・バス等を介して互いに連結されている。
【００３４】
次に作用を説明する。
【００３５】
図１において、パチンコ機１０の遊技盤面１２内に打ち出されたパチンコ球は遊技盤面１２に打たれたクギや風車にぶつかりながら様々に方向を変えて落下し、アウト口１５に至る前に入賞口ＮＣ…、ＮＳ…に入賞すると賞球の排出等が行われる。
【００３６】
パチンコ球が第１始動チャッカーＣ１、Ｃ１へ入賞するとそれを検知スイッチ（図示せず）が検知して、即ち可動開閉片２１、２１を始動する第１権利が発生し、図２に示した制御手段３０の遊技制御部３０ｂへその情報が送られる。遊技制御部３０ｂのＣＰＵ３１は第１権利一つにつき遊技盤面１２上のほぼ中央に設けたセンター部２０に取り付けた可動開閉片２１、２１に１～３回等の所定回数の開閉動作を１度行わせ、遊技者に有利な第１付加価値状態を齎す。
【００３７】
第１付加価値状態が継続している間にセンター部２０に取り込まれたパチンコ球が特定の部位に入ると第１付加価値状態よりもさらに遊技者に有利な状態、例えば、通常よりも長い時間可動開閉片２１、２１を開閉状態にしたり、あるいは、開いた状態を一定時間維持する状態を齎してもよい。
【００３８】
パチンコ球が第２始動チャッカーＣ２へ入賞するとそれを検知スイッチ（図示せず）が検知して、即ち制御手段３０により抽選を行う第２権利が発生し、図２に示した制御手段３０の遊技制御部３０ｂへその情報が送られる。遊技制御部３０ｂのＣＰＵ３１は第２権利に一つにつき１回の抽選を行う。ＣＰＵ３１からの命令を受けて表示制御部３０ａのＣＰＵ３４は、可変表示部２２を所定の時間動作させた後抽選結果を示す図柄等を表示するように停止させる。抽選結果が所定の当たりとなった場合、可動入賞口２３に設けた可動体２４に所定の開閉動作を行わせて遊技者に有利な第２付加価値状態を発生させる。
【００３９】
図３を参照して可変表示部２２の動作中に更にパチンコ球が第２始動チャッカーＣ２に入った場合について説明する。
【００４０】
可変表示部２２の動作中に第２権利が保留されている場合（ＳＴＥＰ１）、遊技制御部３０ｂは遊技者による権利変更手段４１の操作があったかを判断し、変更が無い場合は（Ｓ

ＴＥＰ２）、可変表示部２２の動作が停止した後に再度抽選して可変表示部２２の動作を開始する（ＳＴＥＰ３）。

【００４１】

権利の変更が有った場合は（ＳＴＥＰ２）、可変開閉片２１を動作させて第１付加価値状態を発生させる（ＳＴＥＰ４）。この変更により第２権利の保留数（ｎ）が一つ減り保留数はｎ－１に設定される（ＳＴＥＰ５）。このとき、保留数ｎがゼロであれば可変表示部２２の動作は所定の時間経過の後に終了する（ＳＴＥＰ６）。保留数が残っていれば上述の（ＳＴＥＰ２）へ戻って諸判断が繰り返される。

【００４２】

前記形態では、第２権利に基づくＣＰＵ３１の抽選の結果が所定の当たりとなったとき、可変入賞口２３に第２付加価値状態を齎すものを示したが、第２付加価値状態が継続している間にセンター部２０に取り込まれたパチンコ球が特定の部位に入ると第２付加価値状態よりもさらに遊技者に有利な状態を齎すようにしてもよい。

【００４３】

このようにして、本形態ではセブン機と羽物のゲーム性を同時に楽しむことができる。

【００４４】

【発明の効果】

本発明にかかる１台のパチンコ機においては、始動チャッカーへの入賞によって、可変表示部で抽選の結果が所定の当たりになったとき、可変入賞口が所定の開閉動作となる所謂セブン機と、始動チャッカーへの入賞によって、前記可動開閉片が開閉動作を行う所謂羽根物の遊技性を合わせ持ち、それぞれの始動チャッカーへの入賞による開閉動作中に、センター部に取り込まれたパチンコ球が、特定の部位に入ると更に遊技者にとって有利な付加価値がセブン機と羽根物の遊技性のどちらにも付与される。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一形態にかかるパチンコ機を示す正面図である。

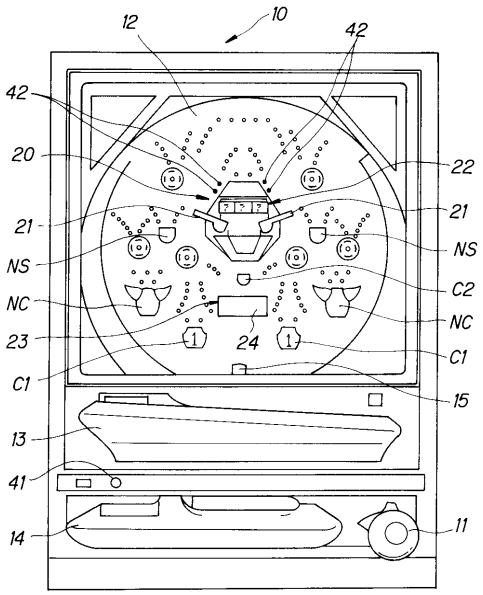
【図２】本発明の一形態にかかるパチンコ機の機能を示すブロック図である。

【図３】本発明の一形態にかかるパチンコ機において、可変表示部の１回の動作中の保留数の扱いを示すチャートである。

【符号の説明】

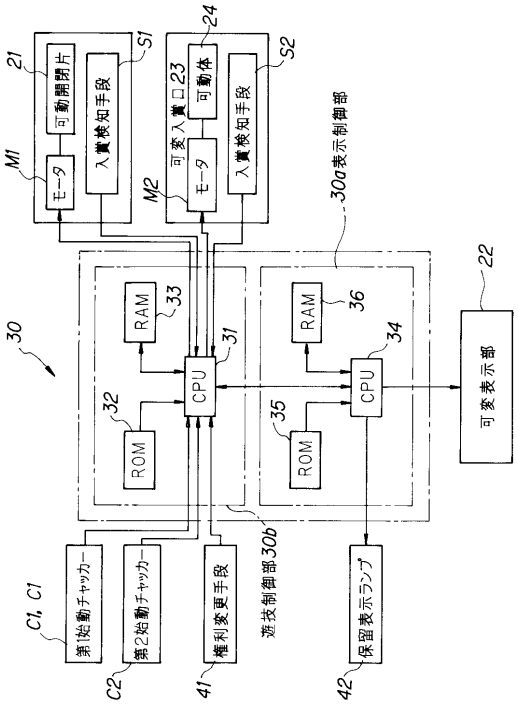
１０…パチンコ機
２０…センター部
２１…可動開閉片
２２…可変表示部
２３…可変入賞口
３０…制御部
４１…権利変更手段
Ｃ１…第１始動チャッカー
Ｃ２…第２始動チャッカー

【図１】

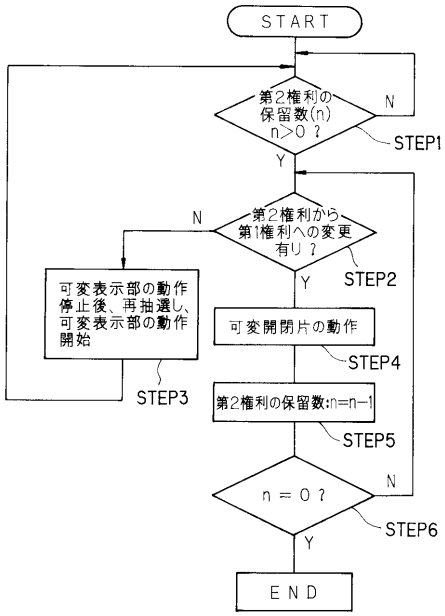


１０…パチンコ機
１１…ハンドル
１２…遊技盤面
１３…前皿
１４…下皿
１５…アウト口
２０…センター部
２１…可動開閉片
２２…可変表示部
２３…可変入賞口
２４…可動体
３０…制御部
４１…権利変更手段
４２…保留表示ランプ
Ｃ１…第１始動チャッカー
Ｃ２…第２始動チャッカー
ＮＣ，ＮＳ…入賞口

【図２】



【図３】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開昭６４－０６２１８１（ＪＰ，Ａ）
特開平０１－０９９５８３（ＪＰ，Ａ）
特開平０７－０５１４４４（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－２６１１７７（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
A63F 7/02